

# とうきょうすくわくプログラム活動報告書

テーマ 【リズム遊び】 幼児（3.4.5 歳児）

ひらお保育園【稲城市】

活動期間：2025年12月24日

テーマの設定の経緯：

- ・身体を動かすという好きなことを通して、「聞く」ということを意識できるようこの活動をおこなった。
- ・足育の研修を受け、足は身体を支える土台であり、乳幼児期は感覚を磨いていくことが大切という話があり、さまざまな身体の使い方ができるような活動としてリズム遊びを取り入れていくことにした。

## 探求活動の実践

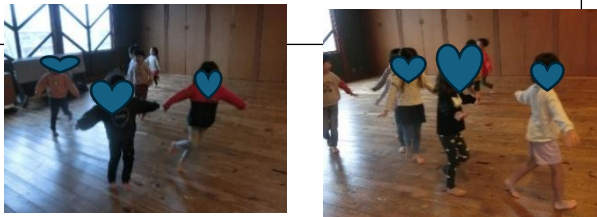
活動：リズム遊び

環境をデザインする：

- 準備したもの・環境設定
- ・ピアノ

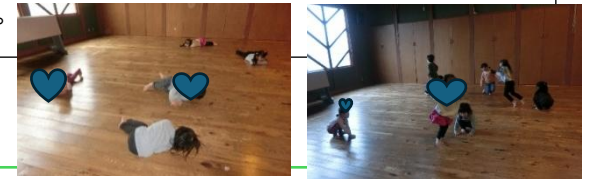
活動内容

- ・保育者がピアノの音を鳴らしたり、曲（ちょうちょ、かえるなど）を弾いたりする。
- ・子ども達はピアノの音に合わせて身体を動かす。（つま先立ち歩き、高這い、腹這い、しゃがんで歩く、ジャンプ、走る、止まるなど）



## 子どもの様子

- ・5歳からおこない4歳、3歳と順番にやっていったので、年上の子の姿を見て、3、4歳も同じように音に合わせて身体を動かす姿があった。
- ・ちょうちょでは、手を広げて上下させながら歩き、トンボになると手を横に広げて走り、カエルではカエルになりきってジャンプをし、何の曲かを聞いて、その曲に合わせて動きをしていた。また、曲が止まると止まり、曲がまた流れると動き出し、音を聞いて動く姿があった。
- ・3歳と4歳の子が「1番」と言い、順位を争って言い合いをしていると5歳の子が「リズム遊びは競争じゃないよ。だから順位はないんだよ。音に合わせて身体を動かすんだよ」と話してくれる姿があった。
- ・きりん（つま先立ち歩き）ワニ（腹ばいで足先で床を蹴って進む）など動物の動きに見立てながらさまざまな身体の使い方ができるようにしていったが、足の動きが難しい子もいた。「〇〇ちゃんの歩き方本物のきりんみたいだね」など足をしっかり使っている子に気付けるような声掛けをしていくことで、「こう？」と友だちの動きを見て、少しずつ意識してやってみようとする子もいた。



## 振り返りをふまえた気づき

- ・リズム遊びをおこなうことを楽しみにしている子どもの姿があり、音に合わせて身体を動かすことの楽しさを感じているようだった。
- ・3歳の子と4歳の子が言い合いになった時には、5歳の子が「リズム遊びは、音に合わせて身体を動かすんだよ」という話をしてくれていて、音を聞いてそれに合わせて身体を動かすということが子どもたちの中で意識できていると感じた。異年齢でおこなうことで子ども同士で教え合う姿があったので、今後も異年齢でおこない、それぞれの気付きや新しい発見に繋がるようにしていきたい。
- ・つま先立ち歩きや足先を使うなど足の動きが難しい子もいた。さまざまな足の使い方、動きができるよう、友だちのを見てこうやるのかと気付いたり、足についての話を聞き、こうやって動かすといいのかと気付いていけるようになっていきたい。